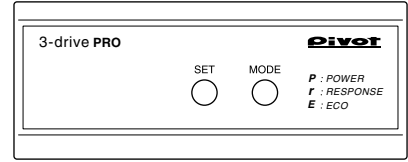
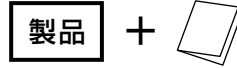


取扱説明書 (品番：3DP)

3-drive PRO

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

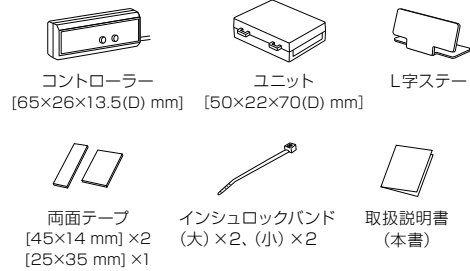
- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書(本書)をお付けください。



目次

ご使用のまえに・内容物	1
各部の名称	1
特長	2
手順1 配線接続方法	3
手順2 製品の固定	3
手順3 初期設定(アクセル開度設定)	4
操作方法	5
表示の種類	6
故障かな?と思ったら	7

内容物をご確認ください



装着後は必ず「初期設定」をする

製品装着後はクルマの特性を設定する「初期設定」(⇒4ページ)を必ず行ってください。「初期設定」を行わないとクルマ側の **チェックランプ** が点灯する場合があります。また、モード表示を換えても **ノーマル状態** のままです。

作業が不安な方

本製品は配線接続など一部専門知識が必要ですので、作業が不安な方は販売店にご相談ください。

専用ハーネスは3-drive用を使用

不具合の原因となりますので、専用ハーネスは必ず3-drive用をご使用ください。

製品の取り外し時はノーマルモード

製品を取り外す時は、ノーマルモードにしてください。他のモードで接続すると、**チェックランプ**が点灯する場合があります。

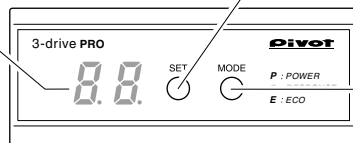
製品改造の禁止

本製品の改造は、クルマ側の不具合や製品故障の原因となり、走行にも影響を及ぼしますので絶対にしないでください。

各部の名称

1 表示部

- 各モード表示
- アクセル開度表示 (5~100%)
- 各設定表示



2 SETスイッチ

- 各モードの変化率切り換え
- 初期設定

3 MODEスイッチ

- 各モード切り換え

表示部の消灯について

本製品はクルマのECU電源に連動しています。そのため、車種によってはキースイッチOFFから表示が消えるまで最長15分かかりますが、正常な動作です。

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定

操作
方法

お困りの
ときは

特長

OBD接続不要! 純正風デザインのスロコン。

衝突軽減システム車や輸入車にも対応可能。

アクセルコネクタだけの接続

低電流回路により電圧降下などによる誤作動を防止し接続作業を簡単にしました。

OBD製品も使用可能

OBD接続が不要なため、OBD接続のメーターやレーダー探知機も使用できます。

純正風な装着感

薄く小型でエッジの効いたデザインのコントローラーは後付感をできるだけ抑え純正風に装着できます。

幅広い調整モード

全域のレスポンスがアップする7段階のパワーモード、低中域がレスポンスアップする5段階のレスポンスモード、急加速を抑えエコドライブに最適な5段階のECOモードと純正状態のノーマルの4モード17段階の幅広い調整が可能です。

アクセル開度モニター

アクセル開度を5~100%まで1%単位に高精度表示。

最適化した制御

各制御は従来品をさらに最適化し、よりスムーズな走行が可能です。

衝突軽減車や輸入車にも対応

衝突軽減システム車や輸入車にも対応可能です。

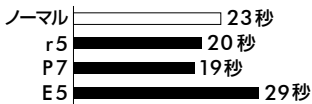
アクセルの違いによる誤作動防止

アクセルペダルの違いによる誤作動を防止する初期設定方式。

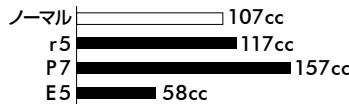
安心のセーフティシステム

接続や製品の不具合時はノーマルに戻るセーフティシステム。

加速時間比較

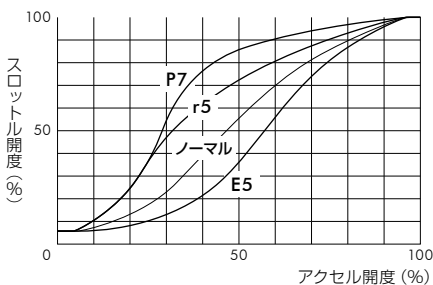


燃料消費量比較

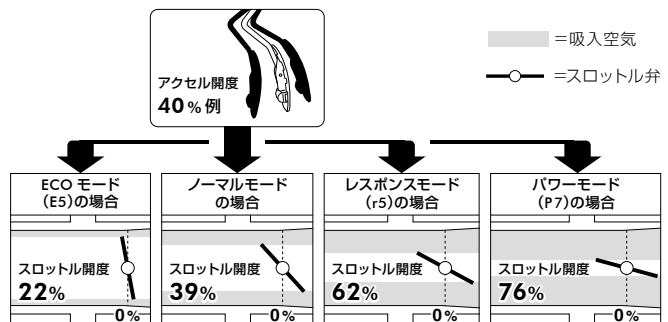


r5=レスポンスモード最大 P7=パワーモード最大 E5=ECOモード最大
 車種=ホンダ ステップワゴン (RG1) / 距離=0~400m / アクセル開度30%固定

スロットル開度変化



P7=パワーモード最大
 r5=レスポンスモード最大
 E5=ECOモード最大



※パワーモードは7段階、ECOモード、レスポンスモードは5段階の調整が可能です。
 ※バルブマチックエンジンなどを採用している一部車種では、スロットルバルブではなく吸気バルブで制御を行っている場合があります。

ご使用の
 まえに

製品の
 特長

記録
 接続
 方法

製品の
 固定

初期
 設定

操作
 方法

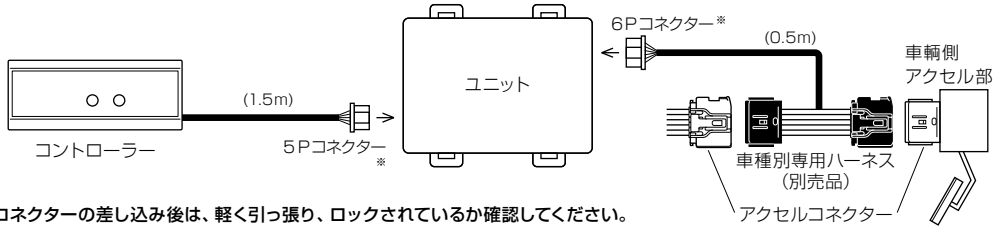
お困り
 の
 ときは

手順 1

配線接続方法

基本配線

取付の際は必ず車種別専用ハーネスをご使用ください。

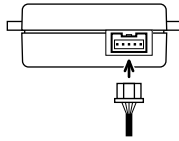


※ コネクタの差し込み後は、軽く引っ張り、ロックされているか確認してください。

コントローラー

5P
コネクタ

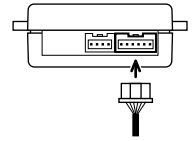
ユニット側面へ接続。



車種別専用ハーネス (別売品)

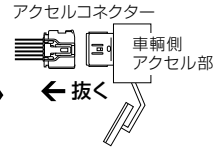
6P
コネクタ

ユニット側面へ接続。



アクセルコネクタの取り外しは、キースイッチOFF後15分以上経過してから行ってください。

車種によってはチェックランプ点灯の原因になります。
(チェックランプ点灯の場合 ⇒ 8ページ「チェックランプ消灯方法」参照)
※アクセルコネクタへの装着方法は、各専用ハーネス付属の説明書を参照してください。



手順 2

製品の固定



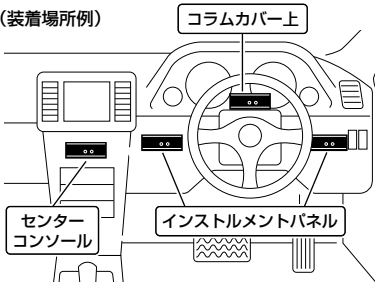
誤作動防止のため磁石を使ったスマホ用等の固定部品は使用しないでください。



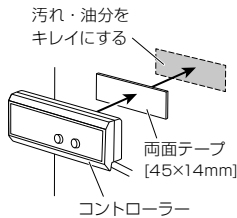
コードは鉄板やネジ等で被ふくが傷つきショートしないよう束ねて処理してください。

コントローラーの固定 できるだけ表示が見やすく操作しやすい場所に装着してください。

(装着場所例)

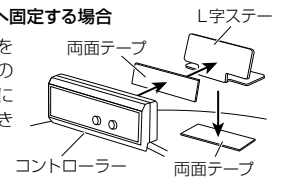


●平面上に固定する場合

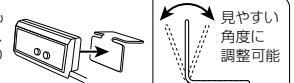


●コラムカバーなどで固定する場合

付属のL字ステーを使うと曲面や斜めのダッシュボード上にも見やすく装着できます。

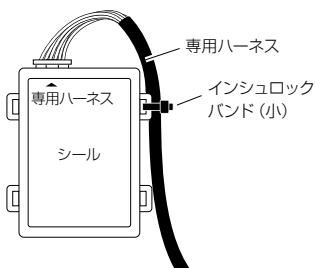


※ステーは逆向きにも使用できますので、お好きな向きに取り付けてください。



ユニットのコード処理

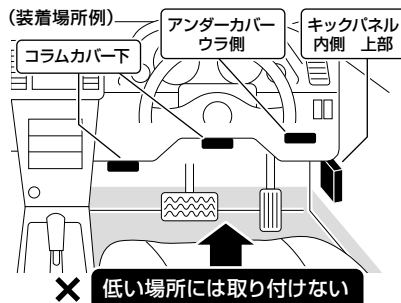
各コードが足などに引っ掛かり、端子が抜けないようコードを固定してください。



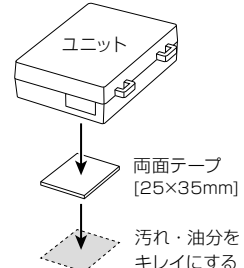
ユニットの固定

下図のような水のかからない場所に固定してください。

(装着場所例)



●平面上に固定する場合



ご使用の
まえに

製品の
特長の

配線接続
方法

製品の
固定の

初期
設定

操作
方法

お困りの
ときは

手順 3

初期設定 (アクセル開度設定) 必ず行ってください。

はじめて装着したとき



初期設定

違うクルマに装着したとき



初期設定

- この作業は、クルマのアクセル特性を製品に設定するためのものです。
- 設定を行わないと、モード表示を換えてもノーマル状態のままです。
- この作業を行わないと、チェックランプが点灯する場合があります。

初期設定作業のまえに

1. 設定はすべての配線 (コネクタ装着) 後に行ってください。
2. 設定は **キー ON** ・ **エンジンを始動しない** ・ ギヤ位置 **P** (パーキング) または **N** (ニュートラル) で行ってください。

【設定方法】

操作手順	コントローラー表示部
1 キースイッチ ON にする (エンジンは始動しない) または プレーキ踏ます 2 回押す	- - (ノーマル) 表示が - - 以外の場合は、MODE スイッチを押し、- - にしてください。
2 SET スイッチ押し続け 表示を 0 にする 0 まで押す	cR ↓ 5 4 ... 1 0 cR 点滅表示後、5 ~ 0 カウントダウン
3 表示 0 で SET スイッチはなす はなす	L.
4 アクセルを踏まない (アクセル 0% 状態にする) 0%	L.
5 SET スイッチ押す 0% 状態を設定	H.
6 アクセルを奥いっぱいまで踏み込む (アクセル 100% 状態にする) 100%	H.

□ 内に表示する数字は車種により異なります。

操作手順	コントローラー表示部
7 アクセル 100% 状態で SET スイッチ押す 100% 状態を設定	5E (セット) ↓ 00. (100)
8 表示が 00. に変わったら アクセルをはなす 	00. (100) ↓ - - (ノーマル)
9 設定完了 他のクルマに装着する時は必ず再設定を行ってください。 設定後にバッテリーや配線を外した場合の、初期設定は不要です。	

設定の確認 ※表示が違う場合は再度 2 から行ってください。

踏まない アクセルを 0%		⇒	- - (ノーマル)
踏み込む アクセルを 100%		⇒	00. (100)



7 で E_r 表示になる場合

E_r 表示後、4 の表示 (L、! など) に戻る場合はアクセル開度設定が確実にできていません。もう一度 4 から設定をやり直してください。

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定

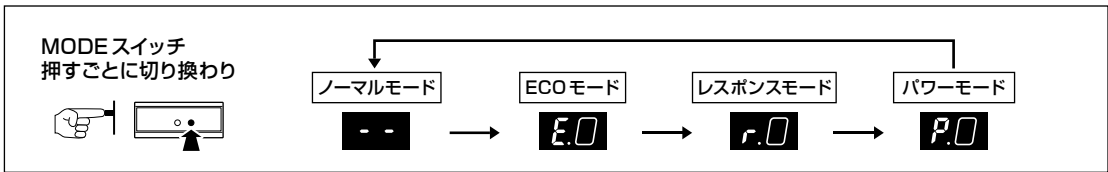
必ず
行って
ください。

操作
方法

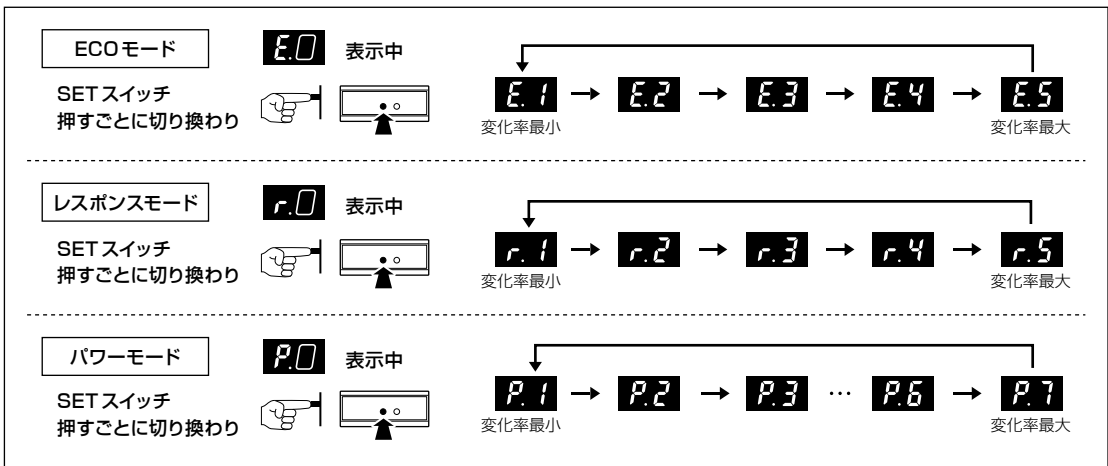
お困り
の
ときは

操作方法

モード切り換え



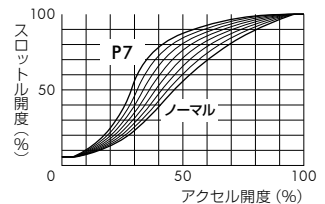
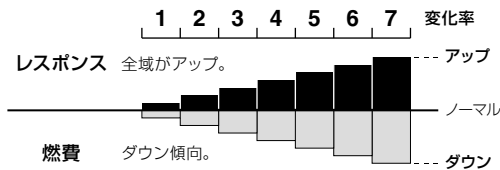
変化率の切り換え



各モードの特徴

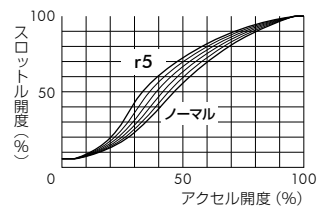
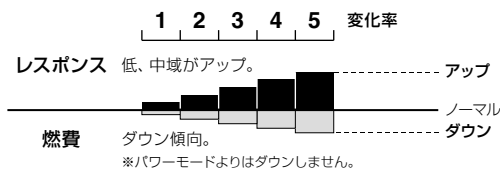
パワーモード

サーキット
スポーツ



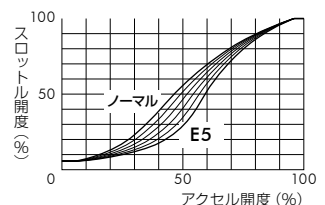
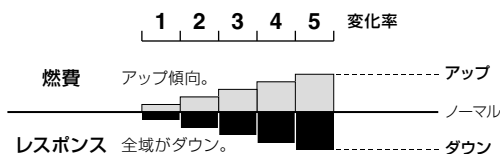
レスポンスモード

サーキット スポーツ
ワイヤー特性に近い



ECOモード

ECO運転 市街走行
渋滞走行 滑りやすい路面



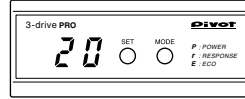
モードの切り換えを行っても各変化率は変更されません。

ご使用の
製品の
配線接続
製品の
初期
設定
初期
設定
初期
設定
初期
設定

アクセル開度モニター アクセルの踏み込み量を表示します。(出力信号側) [5~100%まで1%単位]

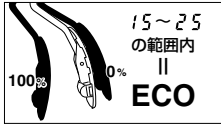
- アクセル開度モニターはアクセルを踏まない状態を0とし、奥まで踏んだ状態を100としてECU側に出力する開度率です。
- 5%~100%まで1%単位で表示。(100%のときの画面表示は00)

アクセル開度
(出力側)
20%時



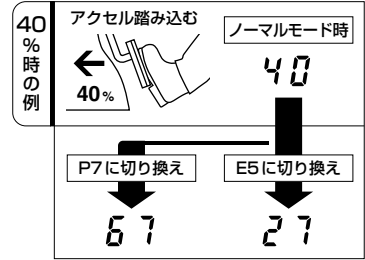
用途1 エコ運転時のアクセル操作チェック

発進から加速時に低燃費となるアクセル開度は約15~25%以内です。エコ運転時はECOモードと併用されると効果的です。



用途3 制御状態のチェック

キースイッチON(エンジン停止)状態でノーマルモードでアクセルを40%まで踏み込み、モードをP7にすると表示は67(出力67%)となり、E5では表示は27(出力27%)となります。
※表示は多少異なる場合があります。



用途2 運転中のアクセル操作チェック

ECOモード以外でもアクセル開度がチェックできますので各変化設定のチェックなどにご利用ください。

表示の種類

使用中の表示


表示	説明
P.1~P.7	パワーモード(数字が大きい=レスポンスが高い)
r.1~r.5	レスポンスモード(数字が大きい=レスポンスが高い)
E.1~E.5	ECOモード(数字が大きい=レスポンスが低い)
- -	ノーマル(純正状態)
32 (例: 32%)	アクセル開度表示
00	アクセル開度表示(100%)

設定中の表示

表示	説明
cA	初期設定モード
L.O	アクセルを踏まない位置
H.O	アクセルを奥まで踏んだ位置
SE	入力完了

故障かな？と思ったら

基本動作と車輛関係

症状	原因	対策
キースイッチ ON で表示が点灯しない、または使用中に表示が消灯する。	5Pコネクター (6Pコネクター) の接続不良。 専用ハーネス の接続不良。 専用ハーネス の品番間違い。	再度ご確認ください。
チェックランプが点灯した。 	「キー ON」または「キー OFF 後 15 分以内」に アクセルコネクター または 専用ハーネス を抜いた。 「初期設定」が行われていない。	抜いたコネクターを元に戻し、チェックランプを消灯させてください。(⇒ 本書 8 ページ) 「初期設定」(⇒ 本書 4 ページ) を行い、チェックランプを消灯させてください。(⇒ 本書 8 ページ)
初期設定中に E_r 表示になる。	「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。(⇒ 本書 4 ページ)
キースイッチを OFF にしても表示が点灯している。	本製品はクルマの ECU 電源に連動しています。そのため、車種によってはキースイッチを OFF にしてから表示が消えるまで最長 15 分かかりますが、正常な動作です。	

スロットルコントローラー関係

症状	原因	対策
モードを切り換えても変化を体感できない。	「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。(⇒ 本書 4 ページ)
モードが「--」(ノーマル)表示に切り換わる。		
モードまたは変化率の設定が記憶されない。	モード切り換えまたは変化率設定後、すぐにキースイッチを OFF にしている。	モード切り換えまたは変化率設定後、2 秒以上経ってからキースイッチを OFF にしてください。

ご使用の
まえに

製品の
特長の

配線
接続
方法

製品の
固定の

⚠
初期
設定

操作
方法

お困りの
ときは

⚠ 警告

右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 初期設定はギヤをPまたはNにし、エンジン停止状態で行ってください。エンジン動作中は危険ですので初期設定を行わないでください。
- 換気の悪い場所で作業しないでください。排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- コードの被ふくを傷つけないでください。ショート、接触不良等による火災の危険があります。
- 走行中のスイッチ操作や表示の注視は大変危険ですのでおやめください。
- 配線処理や製品固定は運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

⚠ 注意

右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

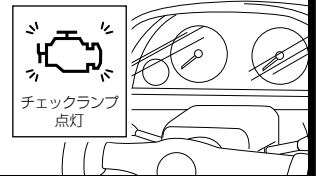
- 間違った設定や使用方法による車輛、製品、事故等の問題には弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。
- 装着できる車種かどうかは、対応車表でお確かめください。
- 本製品の装着には専門知識が必要です。不安な方は販売店などにご相談ください。
- 間違った装着・設定をすると、チェックランプが点灯する場合があります。
- 手入れは乾いたやわらかい布（めがね拭き）で拭いてください。
- アルコール・ベンジンなどは使わないでください。プラスチックが割れたり塗装面を傷めたりします。
- 加工・分解および改造は行わないでください。

ヒント

チェックランプ消灯方法

間違った操作などでチェックランプを点灯させてしまった場合は下記の方法で消灯させてください。

- ① 正常状態でエンジン始動と停止を数回繰り返してください。
- ② ①を行っても消灯しない場合はバッテリー ⊖ 端子を 10 分程度外してください。
- ③ ① ②を行っても消灯しない場合は、カーディーラー等で専用機器で消灯作業を行ってください。



※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。
※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には不正競争防止法等の法的処置が近年厳しく適用される場合があります。
※PIVOT マーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。